

# TMS 内のシステムで ISDN 番号のコールを選択できません。これは、なぜですか。

## 内容

### [概要](#)

[TMS 内のシステムで ISDN 番号のコールを選択できません。これは、なぜですか。](#)

### [関連情報](#)

## 概要

この記事は Cisco TelePresence Management Suite に関連しています。

**Q. TMSのシステムには、ISDN番号を呼び出す選択肢がありません。これは、なぜですか。**

**A.独自のISDN接続を持つシステムからISDN番号にコールを発信するには、システム（エンドポイントまたはMCU）にISDN帯域幅があることをTMSが認識している必要があります。システムに独自のISDN接続がない場合、TMSは使用するゲートウェイプレフィックスを認識し、システムがゲートウェイを使用できることを確認する必要があります。**

- システムに独自のISDN接続がある場合は、システムに要求側システムのISDN帯域幅があることを確認します。TMSでは、[システム(Systems)] > [ナビゲータ(Navigator)]に移動しました。システムを選択し、[設定]タブをクリックし、[通話設定]までスクロールダウンします。最大ISDN帯域幅は0より大きい必要があります。
- システム自体にISDNがない場合は、システムがゲートキーパーに登録されており、システムに関連付けられたIPゾーンにゲートウェイプレフィックスが定義されていることを確認します。TMSで、[システム(Systems)] > [ナビゲータ(Navigator)]に移動し、システムを選択します。[設定]タブをクリックして、[ネットワーク設定]まで下にスクロールします。システムが[Gatekeeper]に登録され、[Gatekeeper Registration Status]が[Registered]であることを確認します。ゲートキーパーのステータスが登録されていない場合、TMSはエイリアスまたはプレフィックスへのコールルートを提供せず、H.323の直接IPアドレスダイヤルのみを提供します。

### IPゾーン設定の確認

TMSがISDNコールにH.323を提供できるかどうかを確認するには、次の手順を実行します。

1. [システム] > [ナビゲータ] > [システムの選択]に移動し、[設定]タブをクリックします。
2. [General] で、どのIPゾーンがシステムに関連付けられているかを確認します。
3. [管理ツール] > [場所] > [IPゾーン]で、システムに関連付けられたIPゾーンを選択し、ドロップダウンメニューを使用して[表示]を選択します。

- ゲートウェイの自動プレフィックスは、H.323ビデオコールに使用されます。

- ゲートウェイの電話プレフィックスは電話コールに使用されます。注:プレフィックスが定義されていない場合、TMSはこのIPゾーンに関連付けられたシステムのISDNコールにH.323を提供しません。

スケジューリングを使用してコールを試みると、各システムのTMSスケジューリング設定も考慮されます。各システムには、各コールプロトコルの着信コールおよび発信コールに対する許可アクセス許可があります。コール内の各エンドポイントから要求されたコール方向に対する許可アクセス許可が付与されていない場合、TMSはコールルートを提供しません。

システムのTMSスケジューリング設定を表示するには、[システム]>[ナビゲータ]に移動し、システムを選択し、[設定]タブをクリックし、[TMSスケジューリング設定]までスクロールダウンします。

## 関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)